

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		こどもの予防接種事業			<input checked="" type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健全		所属部	こども部
	施策	6	健康づくりの推進		所属課	こども家庭課
	業務分野	23	地域医療体制の充実		所属班	母子保健班 (内線) 1637
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 11826 法令根拠
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 6 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	予防接種法に基づく定期接種を実施。全て個別接種で実施している。また、併せて感染症予防の普及啓発を行う。定期接種は、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)、五種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ)(R6年度から)、不活化ポリオ、MR(麻しん・風しん)、麻しん、風しん、日本脳炎、DT(破傷風・ジフテリア)、子宮頸がん(9価：R5年度から)、水痘、ロタ(R2.10月から開始)である。子宮頸がん予防ワクチンは、副反応報告が相次いだため、平成25年6月14日以降接種勧奨の差し控えとなっていたが、令和3年11月26日の厚生労働省通知に基づき、接種勧奨が再開。このため、子宮頸がん予防ワクチン接種の機会を逃した者(平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ)に対して、令和4年度から令和6年度までの3年間キャッチアップ接種を実施することになった。しかし、本ワクチンの需要が高まり、ワクチンの限定出荷が行われたこと等を踏まえ、条件付きで令和7年度末まで延長。(対象者は、従来のキャッチアップ接種対象者に平成20年度生まれが追加)MRワクチンは、一部の地域において供給量が不安定だったことから、令和6年度定期接種対象者かつその未接種者に対して、接種期間を、令和8年度末まで延長。令和4年4月より、造血幹細胞移植後のワクチン再接種補助金の交付を行っている。令和6年度より、(10380)感染症予防事業と(11826)こどもの予防接種事業に分割。
【業務の流れ】	医療機関等との契約。委託料の支払い事務。補助金交付に関する事務処理。予防接種台帳管理、電算入力等の事務処理。予診票作成。個別通知、すこやかカレンダー、広報、乳幼児健診、家庭訪問等で周知。
【主な予算費目】	報酬、職員手当等(時間外勤務手当、期末勤勉手当)、旅費(費用弁償・普通旅費)、需用費(消耗品費・印刷製本費)、役務費、委託料、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

予防接種法に基づき、個別接種にて感染症予防に努めた。菊池郡市医師会、熊本県医師会と契約を行い実施した。
 【実績】B型肝炎 1,625件、ロタリックス 831件、ロタテック 343件、ヒブ 757件、小児用肺炎球菌 2,255件、BCG 557件、四種混合 846件、五種混合 1,489件、不活化ポリオ 0件、MR 1,344件、麻しん 0件、風しん 0件、日本脳炎 3,200件、DT 752件、子宮頸がん2価4価 60件、子宮頸がん9価 2,187件、水痘 1,203件

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

個別接種として、定期接種のヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)、五種混合(四種混合分にヒブが追加)、不活化ポリオ、MR(麻しん・風しん)、麻しん、風しん、日本脳炎、DT(破傷風・ジフテリア)、子宮頸がん、水痘、ロタの実施。個別通知、乳幼児健診、広報等で周知を行う。

③予算の主な増減の理由

五種混合、BCGの単価変更に伴う委託料の増

成果指標

接種件数

(単位)

件

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	6年度		6年度		7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
接種件数	件			17,700	17,449	17,590	17,590	17,590	17,590
事業費	国庫支出金	千円					154	154	154
	都道府県支出金	千円		286					
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円			201,114	227,269		215,868	215,868	215,868
(A) 事業費計	千円			201,400	227,269	0	216,022	216,022	216,022

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

【成果向上の余地】

予防接種の必要性、効果等を健診や広報等で周知し、勧奨を行うと共に、必要時には個別通知を行うなど向上の余地あり。

【事業費削減の余地】

他市町と比較をしたが、接種単価は適正であるため、削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)